

2022年1月14日

愛知県知事

大村 秀章 様

一般社団法人 愛知県腎臓病協議会
代表理事 伊藤寿男



オミクロン株(新型コロナウイルス)感染拡大に伴っての
人工透析患者の医療体制確保についての要望書

年明けてから急激にオミクロン株(新型コロナウイルス)感染が拡大しております。デルタ株からオミクロン株に代わるのもそう遠くない状況です。コロナ感染者が全国で18,860人(14日午前0)愛知県1,036人おります。オミクロン株は重症化しにくく、軽症、中症であり、自宅療養で対処すると言われております。しかし感染力が3倍～5倍で市中感染より1月中には1,000人に行くのではないかと予想されます。慢性腎臓病患者にとって免疫力は弱いので、新型コロナウイルスがどんな状況であれ、リスクが高いことには変わりません。高齢者ゆえに、持病、合併症もあります。是非引き続き医療体制について以下の要望事項についてご検討ならびご配慮いただき様、切にお願い申し上げます。

1. ワクチンの接種率、効果の発現については、地域によって差がありますが、早急に3回目のワクチン接種をお願い致します。1月6日現在全国で人工透析患者の感染者は2,677人 死亡者数423人、愛知県124人 死亡者数17人となっております。
2. 感染拡大すれば、重症化人数が増えてまいります。透析患者が入院できる施設が前回要望した時は27病院(新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関79施設中)であるとお聞きしました引き続き人工透析患者が安心して療養できるよう各自治体、医師会、透析専門医が連携し、早急な対策にお取り組くださるよう宜しくお願い致します。
3. 透析患者の抗体カクテル療法である点滴静注射に関して、早期の確実な実施、入院困難な地域での外来での投与を推進されるようお願い申し上げます。また各自治体が医療施設において透析患者に対する治療薬の確実な確保を図られるよう引き続き宜しくお願い致します。